



【(公財)川崎市国際交流協会の講師紹介】
春休みこども語学教室講師

カール デュブック

Carl Dubuc さん



I'm a 2D 3D animator, born and raised in Montreal, Quebec, the French speaking Province of Canada. Proudly home to many immigrants, it was commonplace to be surrounded by those who spoke Canada's two official languages, English and French, in addition to their mother tongues. The influence goes both ways, as when I was in High school I discovered a love of languages, learning Sign Language where I immersed myself in the deaf culture for a few years. I studied Chinese (Mandarin) in University and last year I moved to Japan with my wife and now want to focus on Japanese. The truth is, I try to understand language as a means to an end. Language to understand Culture, and in turn, understand people.

Since I was a child, I've focused mainly on drawing people, observing them and being able to accurately read expressions in order to reproduce them in my character animations. "My name" given in Sign Language is a combination of the sign for "art" and the letter "C". Years later, when learning Chinese, my classmate called me "Mister Animation."

I may use my animations in Kids' English classes, join me and have fun!

カナダのフランス語圏・ケベック州モントリオール出身の、2D 3Dアニメーターです。移民の国ですから、周りの人が母国語のほかに公用語である英語とフランス語を話すことは自然なことでした。その影響か、高校時代に言語愛に目覚め、手話を学んで「ろう文化」にはまりました。

大学では中国（北京）語を学びましたが、昨年妻と一緒に日本に移住してからは日本語ばかり勉強しています。私にとって言語を学ぶことは、文化を、そして人を理解するための手段なのです。

幼いころから、人の観察をしたり表情をよく見て絵を描いて、自分でアニメーションを作ってきました。「ろう文化」では手話の名前をつけるのですが、私の「アート (art)」と「C」を組み合わせたもので、数年後、中国語を勉強しているときにクラスメートがつけた名前は「ミスター・アニメーション」でした。

「春休みこども英語クラス」では、私のオリジナルのアニメーションも使いたいと思っています。みんなで盛り上がりましょう！（翻訳・校正：協会 SIGNAL 編集担当）



川崎市国際交流センターの
あれこれ・いろいろ紹介

CENTER'S EYE

Vol. 12

特別会議室・応接室 ～隠れ家的空間は撮影にも大活躍～

川崎市国際センターの正面玄関に入って右奥、イベント広場に面した、離れのような場所。そこが今回ご紹介する「特別会議室・応接室」です。

扉を開くと絨毯敷のロビースペースがあり、奥にある特別会議室でまず目に入るのは、円卓と部屋いっぱいの窓です。各席にモニターやマイクがあり、さながらテレビでよく見る国際会議場のようです。特別応接室も同様に窓が広く、ベージュ色のゆったりとしたソファと花の形を模したライトが、特別な人を迎える空間を感じさせます。

この会議室・応接室の魅力は、開放感のある窓や天井に加え「日本の美でもてなしをする」という当センターのコンセプトが反映された内装です。各部屋やロビーには篠田桃紅氏の作品をはじめとした美術品も飾られ、会議室の窓からは茶室のある和風庭園が見えます。



特別応接室



特別会議室

もう一つの魅力は隠れ家的なつくりです。ロビースペース内にはお手洗いやパントリーもあり、ケータリング（別途有料）も頼めるため、さまざま

な目的で利用することが可能です。

実はこれらの会議室・応接室は、映画やドラマの撮影にもよく利用されています。「映像のまち・かわさき」ならではのですね。一般にも開放しているので、特別な機会に利用してみたいはいかがでしょうか。

（取材・文：服部 ゆか）

「特別会議室・応接室」のご利用について

◆ 場 所 : 川崎市国際交流センター・1F

※申込には「ふれあいネット（川崎市公共施設利用予約システム）」の利用者登録が必要です。利用希望日の6か月前から、受付で直接申込ができます。